

船舶事故等調査報告書

平成22年8月26日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2010長第16号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成21年8月26日 08時30分ごろ	
発生場所	長崎県長崎市長崎港第4区 長崎港三菱重工 <sup>かげのお</sup> 尾岸壁灯台から真方位129°1,100m付近 (概位 北緯32°42.1' 東経129°50.3')	
事故等調査の経過	平成22年2月3日、本事故の調査を担当する主管調査官（長崎事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	A 押船 第五 <sup>えいこう</sup> 永光丸、19トン 291-20402熊本、有限会社永木海運 B 押船 ひろ丸、19トン 293-17430熊本、有限会社永木海運 C クレーン付バージ <sup>えいこう</sup> 永光、1,000トン なし、有限会社永木海運	
乗組員等に関する情報	A 船長、一級小型船舶操縦士 B 船長、一級小型船舶操縦士	
死傷者等	なし	
損傷	C 船底に擦過傷	
事故等の経過	C船は、船首約1.2m、船尾約1.5mの喫水で、船長Aほか2人が乗り組んだA船を船尾左舷に、船長B1人が乗り組んだB船を船尾右舷に結合して一体型の押船列（以下「C船押船列」という。）を構成し、船長Aが遠隔操作により操船して長崎港第4区内を航行中、平成21年8月26日08時30分ごろ、C船の船底が海底に接触した。 C船押船列は、機関を停止して船内各所及びビルジ等を調査したが、異常は認められなかった。	
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北東、風力 約1.1m/s 海象：潮汐 上げ潮の中央期	
その他の事項	船長Aは、長崎港への入港が初めてであった。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし なし C船押船列は、長崎港第4区内を航行中、港内の水深を把握していなかったものと考えられる。
原因	本事故は、C船押船列が長崎港第4区内を航行中、港内の水深を把握していなかったため、C船が海底に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。	